

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成31年1月分)

平成31年3月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

イ スルブスカ共和国(RS)

当該月、ブルチュコ特別区に関する主だったニュースはなし

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構 (EU加盟プロセスを含む)

(2) 二国間関係

当該月、日・BH関係に関する主だったニュースはなし

3. 経済

(1) 経済政策、公共事業

当該月、経済協力に関する主だったニュースはなし

(2) 民間セクター

(注: 以下は、現地紙など公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

閣僚評議会、MAPの初年度年度計画について協議できず(22日)

22日、閣僚評議会は会合を開催したが、NATO加盟のための行動計画(MAP)の開始に必要である、初年度年次計画についての協議はなされなかった。右は、RS出身の閣僚が、自エンティティの合意が得られていないとして、強硬に議題からの削除を主張したため。RSでは、BH紛争中にNATOによる空爆を受けており、反NATO感情が未だに強い。

SDA、RSの名称に関する違憲申立ての方

針を公表(23日)

23日、ボシュニャク系最大民族主義政党のSDAが、BH憲法裁判所に、スルブスカ共和国(RS)の名称の違憲性に関する申し立てを行う方針を公表。これに対してドディックBH大統領評議会議長・SNSD党首を始めとするセルビア系は激しく反発した。

検察庁長官を2年半ぶりに任命

23日、高等司法検察評議会(HJPC)は、タディッチ検察庁長官代行(クロアチア系)を、6年間の任期で検察庁長官に任命した。タディッチ長官は、サリホビッチ前長官(ボシュニャク系)が職権乱用の疑いで起訴され、同職を罷免されたため2016年9月から現在まで長官

代行を務めていた。

HNS、ICTYの判決を否定する宣言(26日)

26日、モスタルにおいて、クロアチア民族評議会(HNS)が第8回大会を開催し、議長にチョーピッチHDZ党首を再選した他、BHのクロアチア系の立場に関する宣言を採択した。同宣言では、3構成民族の平等な権利を要求しただけでなく、ICTYによるブルリッチ他事件におけるクロアチアの共同犯罪計画(JCE)を認める判決を拒否。

PIC・SB、民族対立を煽る政党の動きを非難(29日)

29日、露を除く和平履行評議会(PIC)運営委員会(SB)の参加国大使は、23日に発表されたSDAによるRSの名称に対する違憲申立てイニシアティブ、右に対するRSのBHからの離脱権に言及したRSの反応、及び、26日に採択されたHNSによるICTYの判決を否定する宣言に関し、BHの主権及び領土保全に疑問を投げかける行為だとして非難する声明を発表した。

BH憲法裁、中央選管の決定に関する違憲申立てを棄却(31日)

31日、BH憲法裁判所は、ボシュニャク系議員が申し立てた、中央選挙管理委員会によるBH連邦議会上院議員の選出規則に関する決定において、その民族比率を2013年の最新の国勢調査に依拠する点は、難民・国内避難民の帰還が完了するまでは1991年の国勢調査を使用するべきと定めたBH連邦憲法に反する旨の違憲申立てを、管轄権がないとして棄却した。

右を以て、BH連邦議会上院議員の選出・同院の発足が可能となり、更に同院によるBH議会上院議員の指名に加え、BH連邦の大統領及び副大統領の選出と、同政府の立ち上げをめぐる法的障害はなくなった。

(2)エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

BH連邦、2019年予算の成立が急務

9日、BH連邦議会上院は会合を行い、26.5億KM(約13.5億ユーロ)で2019年予算を採択した。一方で、右予算の成立には同議会上院における採択が必要となるが、上院は1月中には発足しなかった。BH連邦政府には暫定予算を採択する権限がないため、BH連邦は財源がないまま2019年を開始しており、議会上院の発足と2019年予算の成立が急務となっている。

イ スルブスカ共和国(RS)

「RSの日」祝賀行事の開催(9日)

9日、バニャ・ルーカ市において、RS警察やプーチン露大統領に近いと言われている露のバイカー・クラブ「夜の狼」等によるパレード及び記念シンポジウムを含む「RSの日」祝賀行事が開催された。シンポジウムには、ドディックBH大統領評議会議長(セルビア系、SNSD党首)、ツビヤノビッチRS大統領等に加え、セルビアからブルナビッチ首相及びプリン国防相が出席し、また、イバンツォフ露大使の他、チョーピッチHDZ党首、ペバンダ副首相兼財相等(共にクロアチア系)、並びにデルベッキオ・クロアチア大使等が参加した。また、同行事に際し、RSは、ブルナビッチ首相、イバンツォフ露大使に加え、クロアチアの戦争裁判所により有罪判決を受けた、クロアチアのセル

ビア系武装勢力の故リツァ元司令官に対して勲章を授与した。

クロアチア系政治家及びクロアチア大使の参加に対しては、違憲判決を受けている「RSの日」の祝賀行事である点に加え、とりわけ同行事でクロアチアに対する戦争犯罪人の勲章授与が実施された点で、特にクロアチア国内で強い非難が巻き起こり、クロアチア大使は本国に戻り事情を聴取された上で同職から召還されることとなった。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

閣僚評議会、EBRD総会の開催に関してEBRD総裁と会談(8日)

8日、ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、チャクラバルティ欧州復興開発銀行(EBRD)総裁と会談を行った。会談の席上、ズビズディッチ議長は、総額20億ユーロを超えるEBRDによる対BH融資に改めて謝意を表明し、今後の更なる関係強化について述べた他、サラエボで5月に開催予定のEBRD年次総会の成功に向けて協力を確認し合った。

大統領評議会、ブリュッセルを訪問(29~30日)

29~30日、BH大統領評議会3メンバーがブリュッセルを訪問し、モグリーニ欧州委員会副委員長兼EU外交安全保障政策上級代表及びハーン欧州近隣・拡大交渉担当欧州委員等のEU要人と会談を行った。

会談の席上、大統領評議会各メンバーはBHのEU加盟プロセスに対するEUの後押しに謝意を述べ、BHの同プロセスへのコミットメン

トを強調。EU要人は3メンバーに対し、早期の全レベルの政府立上げと、欧州委員会による追加質問への回答提出、改革への真剣な取り組みを求めた。

なお、大統領評議会は同訪問において、追加質問への回答提出を予定していたが、準備が間に合わず提出できなかった。ドディック大統領評議会議長(セルビア系)によれば、提出には更に20日~30日を要する見通し。

(2) 二国間関係

ポンペオ米国務長官、大統領評議会に対しMAPの初年度年次計画の提出を求める書簡を发出

9日付当地紙によれば、ポンペオ米国務長官は、BH大統領評議会に対し、NATO加盟のための行動計画(MAP)を開始するための初年度年次計画の提出を求める書簡を送付した。コムシッチ大統領評議会クロアチア系メンバー及びジャフェロビッチ同評議会ボシュニャク系メンバーは、書簡の内容はBHの外交方針に合致するものとして歓迎した。

エルドアン・トルコ大統領及びグラバル=キタロビッチ・クロアチア大統領のBHに関する発言(16日)

16日、グラバル=キタロビッチ・クロアチア大統領がトルコを訪問し、エルドアン・トルコ大統領と会談を行った。会談後の記者会見において、エルドアン大統領は、両大統領は、トルコ・クロアチア・BHの3国間協力について合意したと述べた他、デイトン合意はBHの未来への牽引に失敗しており改定が必要である旨、米国はBHに対して更に踏み込んだ政策を採るべきである旨等述べた。グラバル=キタロビッチ大統領は、クロアチアはBHを支援すると

述べつつ、3構成民族の平等な民主的権利が確保されるべきであると述べ、クロアチア系の権利改善の必要性を強調した。

ドディック議長、セルビアにおいてプーチン・ロシア大統領と会談(17日)

17日、ドディック大統領評議会議長(セルビア系)及びツビヤノビッチRS大統領は、セルビアを公式訪問中のプーチン露大統領とベオグラードにおいて会談を行った。会談の席上、プーチン大統領は、ドディック議長の大統領評議会議長就任に祝辞を述べた。ドディック議長はBH情勢につき説明し、政府の立上げについてはセルビア系が許容できないNATO加盟が条件となっている旨述べた。

ドディック議長、プチッチ・セルビア大統領と会談(31日)

31日、ドディック大統領評議会議長(セルビア系)は、ベオグラードを訪問してプチッチ・セルビア大統領と会談を行い、セルビアとRSの町を繋ぐ高速道路案件につき協議を行った他、ドディック議長からは前日までの大統領評議会のブリュッセル訪問の成果を含む最近のBH情勢につき説明。また、セルビアとRSが設立を発表した、ヤセノバツ強制収容所のRSにおける新記念館(クロアチアとRSに跨っていた旧ヤセノバツ収容所敷地のRS部分に新規に設立)についても協議した。

3. 経済

(1) 経済政策、公共事業、

2018年、サラエボの観光客数は57万人

サラエボ・カントン観光庁によれば、2018年にサラエボ・カントンを訪れた観光客数は、昨

年比18.8%増の約57万人。延べ宿泊者数も、前年比22.9%増の約119万人となった。これに伴い、サラエボ市のホテル数も増加しており、2018年には、5つ星ホテル2軒を含む143軒の宿泊施設が新規に営業を開始した。

BH、新車の輸入関税引き下げを準備

19日付当地紙によれば、BH対外貿易経済関係省は、特に電気自動車の輸入促進を目的として、本年12月末日まで新車の輸入関税を一時的に引き下げる案を完成させ、今後閣僚評議会に提示する予定。右案によれば、新車に限り、石油、ディーゼル及びハイブリット車は関税が15%→5%に、電気自動車は5%→0%に引き下げられる。

2018年、BHの輸出総額は約61億ユーロ

BH統計局によれば、2018年のBHの対外輸出総額は、前年比7.6%増の119億KM(約60.8億ユーロ)。輸入総額は前年比6%増の192.7億KM(約98.5億ユーロ)。未だ、貿易赤字は73.7億KM(約37.7億ユーロ)に上るものの、徐々に差が縮小している。なお、主な貿易相手国はEU及びCEFTA諸国。

2018年、BHの新車購入台数は約1万1,000台

24日付当地電子メディアによれば、2018年のBHにおける新車購入台数は、約1万1,000台。そのうちの約3分の1にあたる3,584台は一般消費者による購入で、残りは企業による。輸入の多くは業者によるもので、個人輸入で購入した消費者は180名に留まった。

(2) 民間セクター

独リングスパン社の工場、近日操業開始

8日付当地電子メディアによれば、独の金属工業大手リングスパン社が、BH北西部ボサンスカ・クルパのピラナ工業特区において操業を近日開始する。右工場では、10名を雇用し、主にBOSCHの電気自転車の部品を製造するが、2020年までに少なくとも100万ユーロを追加投資して、工場の拡充を図る予定。

フライ・ボスニア社、試験飛行を実施

8日付当地紙によれば、フライ・ボスニア社は、5～6日にかけて、サラエボ・トゥズラ間においてエアバスA319の試験飛行を実施した。フライ・ボスニア社は、サウジアラビアのAl Shiddiグループが設立した民間航空会社で、現在BH当局からの運航許可取得手続き中。まずは、サラエボ・リヤド間から運行を開始し、将来的には中東や欧州の各都市を就航する予定。

(了)